

# 「徹底攻略 常微分方程式」(共立出版, 2014) の訂正

初版 5 刷 (2014/3), 初版 6 刷 (2014/9)

2018.12.12 真貝寿明

初版 5 刷 (2014/3) および初版 6 刷 (2014/9) について, たいへん申し訳ありませんが, 次の訂正があります.  
このお知らせは, <http://www.oit.ac.jp/is/~shinkai/book/> にて更新しています.

場所	誤	正
p57 例題 2.13 (3)	(傍注) 例題 2.15(7) で未定係数法を用いても解く. さらに,	削除
p57 例題 2.13 (4)	(傍注) 例題 2.15(8) で未定係数法を用いても解く. さらに,	削除
p78 (2.8.47) 式	$\frac{dm}{dv} = -\frac{m}{u+v}$	$\frac{dm}{dv} = \frac{m}{u+v}$
p84 研究課題 2.4	(答え 2 行目) $\beta = 0.3$ (答え最後) $z(t)$ が感染者数の推移である. (答え図)	(答え 2 行目) $\beta = 0.4$ (答え最後) $y(t)$ が感染者数の推移である. (答え図) $y(t)$ と $z(t)$ の線指示入れ替え.
p198 問題 7.5	解析解 $y = -\cos x$ と比較して	解析解 $y = -\cos x + 2$ と比較して
p199 傍注	リヒトマイヤー (1910-)	リヒトマイヤー (1910-2003)
p207 中央付近 下から 4 行目	<b>Integrate</b> [関数, 微分する変数] <b>NIntegrate</b> [関数, 微分する変数]	<b>Integrate</b> [関数, 積分する変数] <b>NIntegrate</b> [関数, 積分する変数]
p233 索引	Richtmyer, R.D. (1910-)	Richtmyer, R.D. (1910-2003)

p211 のベクトル図の表示方法について.

最近の Mathematica では, `PlotVectorField` ではなく, `VectorPlot` を使うようになっています. たとえば, 次のようにすると, 同様の図が描けます.

```
VectorPlot[{1, y/2}, {t, -2, 2}, {y, -10, 10},
  VectorPoints -> 20, AspectRatio -> 0.7,
  VectorScale -> {0.04, 0.2, Automatic}, Frame -> True]
```